

令和 6 年度 四国中央市の国民健康保険事業の運営に関する協議会

[illegible]

場 所 四国中央市役所 市民交流棟 2 階会議室

四国中央市 市民部 国保医療課

令和6年度 第1回四国中央市の国民健康保険事業の運営に関する協議会 会議録

1 開催の日時及び場所

日 時 令和6年5月30日(木) 午後1時30分～ 午後2時45分

場 所 四国中央市役所 市民交流棟2階会議室

2 出席委員及び関係者氏名

(1) 出席委員

井下 敏、高原 斉、榊田美久子、豊永文雄、香川七俊、
田中あけみ、藤田貞子、高橋厚德、原田泰樹、篠原義幸、
伴 美紀

(2) 欠席委員

藤田昌子、石川洋三

(3) 関係者

市長 篠原 実

市民部長 尾崎智恵子

国保医療課長 青木計一郎

課長補佐 山川玲子

課長補佐 高橋真由子

課長補佐 篠原寛将

課長補佐 西岡範彦

係長 浅川朋子

係長 真鍋弘季

(書記) 三好誠司

-----会 議 の 状 況 -----

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 市長あいさつ

(4) 開議宣言

(5) 会議録署名委員の指名について

(6) 報告・議事

【報告事項】

①令和5年度四国中央市国民健康保険事業特別会計決算見込について

②令和5年度四国中央市国民健康保険事業の取組について

③第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等
実施計画について

④その他

(7) 閉会

(資料の確認等)

資料及び出席者の確認並びに野村委員へ哀悼の意を表明

(高橋会長あいさつ)

(市長あいさつ)

(事務局職員の自己紹介)

(市長退席)

議 長

四国中央市の国民健康保険事業の運営に関する協議会を開会する。

会議録署名委員及び書記の指名

香川七俊委員及び篠原義幸委員を会議録署名委員に指名

三好誠司を書記に指名

■報告事項①「令和5年度四国中央市国民健康保険事業特別会計決算見込について」 事務局より説明

【意見・質疑等】

○委員

収納率による保険者努力支援金という補助金の歳入はあるのか。

●事務局

県補助金の特別交付金として入っている。

○委員

他会計繰入金は、法定内だけか。

●事務局

法定内の一般会計繰入だけである。

○委員

被保険者が1,000人減の内訳はあるか。

財政調整基金の残高は、保険給付費の5%が望ましい金額というが、そこを目指さないといけないのか教えてほしい。

●事務局

1,000人減の内訳は、社会保険適用による減少もあるが、後期高齢者医療制度への移行による減少が大半となっている。

●事務局

財政調整基金の残高が保険給付費の5%が望ましいというのは、国の方針である。今後、県統一に向けて必ずしもずっと3億円が必要というわけではないが、不測の事態に備えて基金残高を増やす必要があると考えている。

○委員

月8億円の支出に対し、基金の残高が7,000万円というのは非常に苦しい状況だが、基金3億円はいつ頃達成できそうか。

●事務局

想定は、令和8年度末である。県の納付金と本算定次第なので、今後も注視していく。

○委員

県の納付金は、医療費を反映するのか。

●事務局

反映している。令和8年から徐々に医療費が平準化されるが、それまでは高い見込みである。

■報告事項②「令和5年度四国中央市国民健康保険事業の取組について」事務局より説明

【意見・質疑等】

○委員

ジェネリックについては、新剤が認可されたら勧奨しているか。

●事務局

新剤のみに対して勧奨はしていないが、国保連合会のシステムから対象者を抽出して勧奨を行っている。なお、前年度の勧奨者は、除いている。

○委員

ジェネリックについては、ある程度周知もされており、これ以上の医療費削減は難しいのではないかと。現在は、多剤服用によるポリファーマシー解消を行うことにより、医療費の削減が見込めるので、広報してみるのもいいと思う。

○委員

被保険者における65歳以上の比率を考えると、マイナ保険証の保有割合はかなり高いと思う。マイナ保険証を使用することで重複受診や重複服薬も防げると考える。

○委員

マイナンバーカードだけ作って保険証と紐付けしていない人は市役所に来なくてはいけないのか。

●事務局

市役所や各窓口センターのほか、医療機関などでもできる。

○委員

短期証の方のマイナンバーカードでの受診について伺いたい。

●事務局

12月以降、短期証の取扱いはなくなくなるが、県では管内市町での取扱いを統一する方向で検討しており、運用は変わる予定である。

○委員

特定健診の受診勧奨のグループ分けについて、どのように区分をしているのか。みなし健診について、どのような勧奨を行っているのか。広報しただけなのか、それともどこかにアプローチしたのか。

●事務局

国保に加入して初年度かどうか、健診を受けたことがあるかどうか、ない場合は生活習慣病のレセプトがあるかないか等の7パターンでグループ分けをしている。みなし健診の勧奨については、特定健診の勧奨通知文に掲載するとともに、給与所得がある方に対して、個別勧奨をしている。

○委員

給与所得で抽出するのは、良い試みだと思う。

■報告事項③「第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等実施計画について」事務局より説明

【意見・質疑等】

特になし

■報告事項④「その他」について、事務局より説明

【意見・質疑等】

特になし

退任者のあいさつ（井下委員、高原委員）

次回の運営協議会については調整中。1か月前には連絡の予定である。

議 長

以上で、令和6年度第1回四国中央市の国民健康保険事業の運営に関する協議会を閉会する。

この会議録が真正であることを証するため、ここに署名する。

会 長

高橋厚徳

会議録署名人

篠原義幸

会議録署名人

香川七俊